

平成 22 年度春季全国大会シンポジウム基調講演の募集について

本会では、毎年、春季講演大会において、溶接・接合工学に関する特定の課題について、シンポジウムを開催しています。来る平成 22 年度春季全国大会においては、下記の主題の下、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムをより実りのあるものとするため、基調講演を広く募集いたします。

会員各位におかれましては、奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

1. 主 題：見る・知る・使うー溶接の最新計測技術ー

2. 座 長：中村照美（物質・材料研究機構）

趣 旨：観察は、溶接プロセスで生じる現象を理解し、溶接後の状態を把握する第一歩である。計測はその重要な一つの手段とも言えるが、最近のデジタル化技術の進展により、計測機器の進歩には目を見張るものがある。計測機器の進歩は、当然ながら、それを取り入れた計測技術を高度化し、今まで空間的に点の情報であったものが面の情報となり、面の情報であったものが立体の情報となり、一方、時間軸においては大幅に高分解能の情報となっており、従来では、観察できなかった現象を可視化し、また、発見できなかった現象を新たに見出す機会を我々に与えてくれる。

本シンポジウムでは、これまで直接目で見ることができなかった「溶接中の凝固・相変態過程のその場観察技術」の確立に対して平成 21 年度文部科学大臣表彰を受賞された大阪大学の小溝裕一教授を基調講演に迎えて、プロセス、材料、力学、品質・施工管理の 4 つの視点か

ら溶接に関わる最新の計測技術を取り上げ、現在の計測技術によって、何をどこまで見ることが可能となり、それによって何を知ることができ、それをどのように使うのか、について検証するとともに、計測がもたらす溶接の科学と技術の未来について議論したい。

3. 日 時：平成 22 年 4 月 20 日（火）14:00～17:00

4. 場 所：東京ビッグサイト

5. 基調講演申し込み方法

任意の用紙にタイトル、著者、アブストラクト、連絡先をご記入の上、学会事務局に提出下さい。

6. 申し込み締め切り日：平成 21 年 11 月 13 日（金）

7. 講演採否

申し込みいただいた講演は、採否決定次第、お知らせいたします。

8. 前刷原稿提出期日：平成 22 年 2 月 23 日（火）

採択された講演は、講演概要 86 集に前刷りを掲載いたしますので、所定のオフセット原稿用紙 6 枚以内（表、図、写真を含む）の原稿を作成し、ご提出下さい。なお、講演時間は 1 件 20～25 分程度を予定しています。

9. 討論・質問の申し込み

講演前刷りをご覧いただいたうえで、討論および質問を募集いたします。積極的に参加いただくことを期待します。

討論・質問の希望者は、対象講演と質問内容を簡潔に記載し、平成 22 年 3 月 19 日（金）までに、学会事務局あて、ご提出下さい。